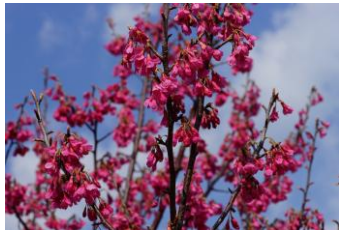


<さくら、さくら> 淡く色のついた満開の桜は新学期とりわけ新入生に似合います。SHCには10種ほどの桜が植わっていますが最も華やぐのがソメイヨシノですね。一方、木々の芽ぶきの中に溶け込んだひかえ目の華やぎはヤマザクラでしょうか。この春は厳しい寒さの後にやってきたものですからいろんな花々そして桜の仲間もあまり時を違えず咲き出したように思います。カワヅザクラの花はさすがに過ぎましたが、カンヒザクラやカンザクラの花のあるうちにソメイヨシノ、そしてもっと遅いはずのヤマザクラ、さらにはオオシマザクラの花もほぼ満開です。

(ソメイヨシノ) 花の大きなオオシマザクラと葉より花が早いエドヒガンの自然交雑による雑種という説が最有力。種からは育たず接ぎ木で殖やすので全個体がクローン。寿命は60年ほどと云われるもののSHC近くの秦野市立南小学校には樹齢110年を越える2本の老木があります。

<光輝く> この10日ほどで雑木林は銀と薄緑色に膨らんできました。どの木々も新芽はそれなりに



<カンヒザクラ>



<カンザクラ>



<オオシマザクラ>

に生き生きとして味わいがあります。またタラの芽やヤマウドのように食欲をそそるものもあります。そんな中とりわけ美しいゴズイの新芽が見られました。役に立たない木といわれるゴズイですが新芽だけでなく秋の果実も存分に目を愉ませてくれます。



<キブシ>



<控え目に> 桜のような華やかさはありませんが春の林をまず演出する花がキブシとイヌシデでしょうか。水辺ではヤナギの花と新芽も光に映えます。ところでキブシの実(五倍子：生薬、黒色染料、ヌルデの虫こぶ)の代用に使うようです。またイヌシデの“シデ”は花の垂れ下がる様子をしめ縄の紙垂(しで)に見立てたとのこと。木質は白くて柔らかいので木彫の材料に使う

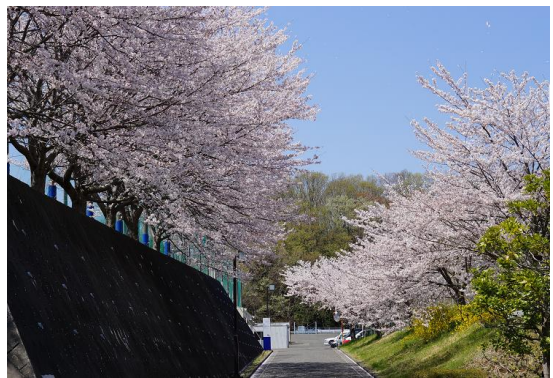
←<イヌシデ> ようです。(文と写真：松本正勝)



<ゴズイの新芽>



<ヤナギ>



<ソメイヨシノ>



<雑木林の芽吹きとヤマザクラ>